

試合規約

◆国際空手道連盟ルールに準ずる

1. 試合時間 「試合時間及びルール」参照
2. 防 具 「試合時間及びルール」参照
3. 着 衣 清潔な空手着を着用すること。男子は道着の下の着衣は認めない。(刺青、タトゥー等やむを得ない場合は事前に選手係に申し出てください)
頭髪の極端な染色・脱色やピアス・ミサンガ等のアクセサリーの着用は認めない。
髪をまとめる場合は必ずゴム等で留めてください。ヘアピンやヘアクリップ(金属製、プラスチック製問わず)などは絶対に使用しないでください。
4. 勝 者 一本勝ち・判定勝ち・相手の反則、失格により判定。
5. 一本勝ち ①反則箇所を除く部分へ突き・蹴り・肘打ちなどを決め、相手を3秒以上ダウンさせるか、戦意を喪失させた時。
②技あり2回で一本勝ちとする。
6. 技 あ り ①反則箇所を除く部分へ突き・蹴り・肘打ちなどを決め、相手を一時的にダウンもしくは戦意を喪失させた時。
②足掛け技・前蹴りがタイミングよく決まり、倒れた相手を下段突きで決めた場合。
7. 判 定 ①一本勝ち・失格がない場合は主審・副審のうち、過半数の審判の判定で決める。
判定が決まらない場合は延長戦を行う。
②延長戦で決まらない場合は体重判定を行う。それでも決まらない場合は再延長戦を行い、勝敗を決める。(体重判定については別紙の「試合時間及びルール」参照)
8. 反 則 ①上段膝蹴り(ビギナーズ・初級・中級・上級の幼年部)
②手技による首から上(首を含む)への攻撃。(蹴り技は有効)
③金的蹴り・頭突き。
④倒れている相手への攻撃。
⑤背後からの攻撃。
⑥蹴りによる正面からの膝関節への攻撃。
⑦拳底押し・正拳押し・つかみ・投げ・手掛け・クリンチ。
⑧技の掛け逃げ。(蹴ってすぐに倒れることを繰り返す)
⑨何度も場外に逃げた場合。
⑩その他、審判が特に反則とみなした場合。
⑪反則は悪質なものを除き注意が与えられる。悪質な反則の場合、原点及び失格もありうる。
⑫注意2回で減点となる。
9. 失 格 ①減点を2回重ねた時。
②試合中、審判員の指示に従わない時。
③試合開始に遅れ、間に合わない時。
④粗暴な振る舞いや悪質な試合態度とみなされた時。
⑤応援態度が悪質とみなされた場合にも失格となりうることもある。
⑥当日の軽量により、規定の体重を5kg超えている時。
10. そ の 他 ①判定に対する抗議は一切認めない。